

第72回日本臨床検査医学学会学術集会

The 72nd Annual Meeting of Japanese Society of Laboratory Medicine

市民公開講座

将棋AIが示す未来：臨床医学への示唆

2025.
8/30^土
13:10-14:40

第1会場

(幕張メッセ
会議棟2F「国際会議室」)

大会長(元 詰将棋作家)
杏林大学医学部臨床検査医学
大西 宏明

定員 500名

申込 事前申込制

参加費 無料^{※1}

※1 学術集会参加者は学会参加費
支払いが必要

▼お申し込みは、QRコードから
必要事項を入力してください。

<https://square.umin.ac.jp/jslm72/shiminkouza.html>



お問い合わせ先・運営事務局

株式会社サンプラネット東京事業部

メディカルコンベンションユニット

〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10

住友成泉小石川ビル6F

TEL 03-5940-2614 FAX 03-3942-6396

E-mail jslm72@sunpla-mcv.com

館山からの風景

プログラム

講演

「AIと将棋：エンジニア・棋士の視点と未来への展望」

谷合廣紀四段

概要 我が国の将棋人口1000万人を数え、医療従事者にも愛棋家は多い。将棋界は、2017年の将棋ソフト「Ponanza」による佐藤天彦名人(当時)への勝利を契機に、人工知能(AI)が人間トップ棋士を超えるという歴史的な転換点を迎えた。これは、AIが特定の専門分野において人間の能力を凌駕する可能性を現実のものとして示し、その後のAI研究や社会への影響を加速させる出来事となった。しかし、このAIによる「人間超え」は、将棋の魅力や人気を衰退させるどころか、藤井聡太竜王・名人の八冠達成や、AIの評価を超える「神の一手」とも称される創造的な着想の出現など、新たなhuman-AI interactionの時代を切り拓く触媒ともなっている。

本企画では、将棋棋士として第一線で活躍される傍ら、AI研究者そしてベンチャー企業エンジニアという稀有な経歴をお持ちの谷合廣紀四段をお迎えし、将棋におけるAI研究の最前線とその進化の道のりについて基調講演をいただく。

パネルディスカッション 谷合廣紀四段、瀬ヶ口笑保人四段、伊奈川愛菓女流二段

続くパネルディスカッションでは、医学生・医師2名の棋士にご登壇いただく。医学部4年生で基礎研究を行いながら三段リーグ突破という空前絶後の快挙を達成した瀬ヶ口笑保人四段、そして女流順位戦B級で前期次点の女流トップ棋士、伊奈川愛菓女流二段である。

医学と将棋を極めた2名の棋士と谷合四段にご鼎談いただき、煙詰の作品を過去に発表したこともある大会長と司会進行の湯地晃一郎プログラム委員を交え、将棋と医学の将来像について議論する予定である。夢の座談会をお楽しみいただきたい。



たにあい ひろき

谷合廣紀四段

東京都中央区出身、中座真八段門下、
順位戦C級2組、竜王戦6組優勝、5組昇級。振り飛車党。
東京大学工学部電気電子工学科卒業、同大学院情報理工学系
研究科電子情報学専攻博士課程に在籍中
人工知能研究者、ベンチャー企業エンジニアとしての顔も持つ。

おそぐち えほと

瀬ヶ口笑保人四段

三重県熊野市出身、森信雄七段門下、
順位戦C級2組(今期より参加)、竜王戦6組
群馬大学医学部5年生、薬理学教室で脳科学研究中。
得意戦法は、角換わり。



いながわ まなか

伊奈川愛菓女流二段

千葉県木更津市出身、所司和晴七段門下、
女流順位戦B級、居飛車党。
昭和医科大学医学部卒、日本精神神経学会専門医、
精神保健指定医。
得意戦法は横歩取り。



会場

幕張メッセ 〒261-8550 千葉県美浜区中瀬2-1



電車でご来場の場合

●JR京葉線・海浜幕張駅 南口(東京駅から約30分、蘇我駅から約12分)から徒歩約5分

●JR総武線・京成線・幕張本郷駅(秋葉原駅から約40分)から「幕張メッセ中央」行きバスで、約17分

後援:公益社団法人日本将棋連盟

協賛: ファースト・ペンギン・プロジェクト (ISC グループ)、神田橋宏治 様